

基本目標1

基本目標(タイトル)	内容	第2回策定委員会資料との対応
生涯にわたる学びの推進	<p>予測困難な時代を迎える中でも、市民一人ひとりが、夢や生きがいを持って豊かな人生を暮らせるよう、幼児期から生涯にわたって学び、郷土愛の醸成や自分の可能性を広げることが求められています。</p> <p>そのため、子どもたちの「未来を切り拓く力」を育むとともに、一人ひとりの教育的ニーズに適切に対応し、子どもの権利保障をはじめ、共生社会の実現に取り組むほか、生涯学習機会の充実を進めていきます。</p>	<p>「全般」を軸に「個別」の内容(共生社会の実現、子どもの権利保障)も引用して作成</p> <p>本市において、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」で構成される「生きる力」の育成に向けて、子どもたちの「未来を切り拓く力」を育成することとしています。</p> <p>「未来を切り拓く力」とは、本市が平成30年8月に策定した「相模原市小中一貫教育基本方針」の中で定義した用語であり、自分の良いところや興味関心のあることを見つけ、目的意識や見通しを持って課題に挑戦することで自らを伸ばしていき、他者より良い人間関係を築くことのできる力のことです。</p>

基本方針

	基本方針(タイトル)	内容	第2回策定委員会資料との対応
1	「未来を切り拓く力」の育成	<p>変化の激しい社会の未来を担う子どもたちにとって、将来の職業や生活を見通し、社会的・職業的自立に向けた資質・能力を身に付ける必要があることから、幼児期から各発達段階に応じて「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を推進するとともに、児童生徒が主体的に生き方を考え、自己実現するための教育の充実を図ります。</p>	<p>キャリア教育を意識した「個別」を軸に「全般」の内容も一部引用し、「未来を切り拓く力の育成」として再構成</p> <p>策定委員会での意見を踏まえて、「幼児期から各発達段階に応じて～」としました。</p>
2	グローバルに活躍する人材の育成	<p>世界に目を向け、様々な分野で活躍できる人材を育成するため、学校において、<u>自国や他国の文化理解を深める取組や、互いの考えを伝え合い、理解し合えるコミュニケーション能力の育成を推進するとともに、英語教育の充実を図ります。</u></p>	<p>「個別」を軸に作成</p> <p>策定委員会での意見を踏まえて、「世界的視野を持つこと」、「自国や他国の文化理解」、「互いの考えを伝え合い、理解し合えるコミュニケーション能力の育成」を追記しました。</p>
3	一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実	<p>障害や不登校、母語が外国語であるほか、生まれ育った環境などにより子どもたちが抱える生活上・学習上の困難を克服することができるよう、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を充実します。</p>	<p>「個別」を軸に作成</p> <p>「個別」にあった「共生社会の実現」、「子どもの権利保障」は目標の本文で目標全体に共通する考え方として整理しました。</p>
4	生涯にわたって学び生かす学習機会の充実	<p>一人ひとりの可能性を広げるため、生涯にわたって必要な知識や時代の変化に柔軟に対応できるスキルを身に付けることができるよう、多様で質の高い学習機会を提供します。また、豊かな人生を暮らせるよう、学び始めるきっかけづくりや、仲間とつながりながら楽しく学び、学んだことを生かすことができる学習機会の充実を進めます。</p>	<p>「個別」を軸に生涯学習の方針として再整理</p> <p>策定委員会での意見を踏まえて、「時代の変化に柔軟に対応できるスキル」としました。</p>
5	スポーツ・レクリエーション活動の支援	<p><u>誰もがライフステージや多様なニーズに応じて身近にスポーツを楽しむことができるよう、機会の充実を図るとともに、体力づくりから競技力の向上まで、市民のスポーツ活動を支援します。</u></p>	<p>新規に作成</p> <p>スポーツに関する内容は、「全般」の「生涯学習機会の充実」の中に入れていたが、基本方針として特出ししました。</p>

基本目標2

基本目標(タイトル)	内容	第2回策定委員会資料との対応
オール相模原で取り組む地域教育力の向上	地域コミュニティの希薄化や核家族化など家庭環境が変化することで、地域の多様な主体が学びを通じた人づくりや地域づくりに取り組んでいくことが求められています。 そのため、行政・学校・地域(住民、NPO、企業等)・家庭が力を合わせ、オール相模原で地域教育力の向上を目指していきます。	「全般」を軸に作成

基本方針

	基本方針(タイトル)	内容	第2回策定委員会資料との対応
6	子どもたちの成長を支える取組の推進	地域全体で子どもたちを取り巻く環境について共通理解を図り、子どもに関わる活動の担い手を育成するとともに、学校と地域がパートナーとして連携・協働するための仕組みづくりなど、地域全体で子どもたちの成長を支える取組を進めます。	「個別」を軸に「個別」の考え方も含めたものとして作成 策定委員会の意見を踏まえて、「大人の学び」の観点から「子どもたちを取り巻く環境について共通理解を図る」ことを追記しました。
7	地域の学びを通じた絆づくり・地域づくりの促進	地域コミュニティが希薄化する中、地域でその維持・活性化に取り組んでいくため、地域課題の解決に向けた学びや地域に根差したスポーツ活動などを通じて、地域の担い手を育成するとともに、多世代にわたる絆づくりや活気ある地域づくりを促進します。	「個別」を軸に「個別」の考え方も含めたものとして作成
8	家庭を支える仕組みづくりの推進	家庭環境が多様化する中、行政・学校・地域が連携して家庭を支える仕組みづくりを進めていきます。	「個別」を軸に作成

基本目標3

基本目標(タイトル)	内容	第2回策定委員会資料との対応
多様な学びを支える環境の充実	一人ひとりの生涯にわたる学びやオール相模原で取り組む地域教育力の向上のためには、それらを支える環境の充実が必要です。特に、学びを支える人材が重要であることから、学校教育や生涯学習・社会教育を推進するための人材育成等の取組を進めていきます。また、だれもが安心して質の高い学びや健やかな身体を養うことができるよう施設・設備の充実を図るとともに、老朽化への対応やバリアフリー化を進めるなど、多様な学びを支える環境の充実を図っていきます。	「全般」を軸に作成

基本方針

	基本方針(タイトル)	内容	第2回策定委員会資料との対応
9	学校指導体制の充実	子どもたちの「未来を切り拓く力」の育成には、教員の指導力が重要であるため、学び続ける人材を確保するとともに、教員に必要な資質能力の向上を図るための研修を充実します。また、教員が子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう、学校における働き方改革を進めます。	「個別」を軸に作成 策定委員会の意見を踏まえて、「働き方改革」と明確にしました。
10	学校教育環境の充実	学校の施設・設備や給食などにおいて、安全で質の高い教育環境を確保するとともに、長寿命化計画に基づく老朽化への対応や学校規模適正化の取組を進めます。	「全般〇-1」、「個別」、「個別」を軸に作成
11	学校安全の推進	子どもたちを取り巻く自然災害や交通事故や犯罪などの多様な危険に備え、 <u>地域住民や関係機関等と連携しながら、子どもの身を守るための取組を進めるとともに、学校における安全対策の徹底に取り組みます。</u>	「個別」を軸に作成 策定委員会の意見を踏まえて、ハード事業だけでなくソフト事業も読めるように文章を修正しました。
12	生涯学習・社会教育環境の充実	公民館、スポーツ施設、図書館等の施設・設備の充実や計画的な保全など老朽化への対応をするとともに、文化財の保存と公開活用のための整備を進めます。	「全般〇-1、2」、「個別」を軸に作成
13	生涯学習・社会教育の推進体制の充実	学びを通じた人づくりや地域づくりを担う職員の育成など、生涯学習・社会教育の推進体制の充実を図ります。	「個別」を軸に作成